

平成26年度 研修実施計画(変更)

平成26年11月18日変更

- 1 森林・林業の再生、林業の成長産業化に向けた取組の推進に必要な知識及び技術の習得
- 2 森林整備の推進、森林保全の確保及び山村の活性化の推進に必要な知識及び技術の習得
- 3 森林土木(治山・林道)分野における段階的・体系的な知識及び技術の習得
- 4 林業機械化の推進に必要な知識及び技術の習得
- 5 森林・林業行政に携わる者等として必要な基本的な知識及び技術の習得
- 6 国有林野事業職員の能力向上に資する知識及び技術の習得

注: 対象となる国有林野事業職員は、別紙(平成26年度森林技術総合研修所で実施する研修の国有林野事業職員対象者一覧表)による。

区分	区番	担当課	研修の名称	研修の必要性	主な内容	対象者	計画人員(人)			計画日数	実施時期(月・日)	森林総合監理士フォローアップ研修	研修所実施課等	備考
							計	民	国					
1	1	1	森林計画	林業政策の根幹となる森林計画制度に関する知識及び技術を習得させ、森林計画に精通した技術者を育成する。	森林計画制度の体系とその運用各種森林計画の概要と意義	地方公共団体及び森林管理局職員等(業務担当経験総年数おおむね3年以下の者)	42	35	7	5	6/30~7/4		技術研修課	
2	1	1	市町村林務担当者基礎	林務を担当する職員が専門技術に精通していないことから、森林・林業に関する基礎的知識、技術を習得させ、市町村の林業政策の推進と市町村森林整備計画等の作成が可能な技術者を育成する。	市町村担当者に必要な森林・林業の基礎知識 国及び都道府県における森林・林業再生に向けた政策の概要 森林総合監理士の役割と地域との関わり 森林・林業の構想としての市町村森林整備計画の意義	市町村職員	20	20	0	5	6/23~6/27		技術研修課	
3	1	1	木材産業・木材利用Ⅰ(基礎知識)	木材の流通・加工、木造建築等の基礎知識を習得させ、需要に応じた林業生産を推進できる技術者を育成する。	木材産業・木材利用の現状と課題 木材の生産・加工・流通の用語、基礎知識	地方公共団体及び森林管理局職員等(初任者レベルの者)	35	30	5	5	6/16~6/20		技術研修課	
4	1	2	木材産業・木材利用Ⅱ(実践)	木材の流通・加工、木造建築、木質バイオマス等に関する最新の動向、知識・技術を習得させ、的確な森林・林業経営を指導できる技術者を育成する。	木材産業・木材利用の現状と課題 木材の生産・加工・流通 住宅資材、技術開発 木造建築の基礎知識(歴史的~現代建築)	地方公共団体及び森林管理局職員等(初任者レベルの者を除く。)	35	30	5	5	10/6~10/10		経営研修課	
5	1	2	木質バイオマスの熱エネルギー利用	木質バイオマスの熱エネルギー(発電利用を除く、以下同じ。)の普及による山村の振興と木材利用の需要拡大を図るため、最新の海外及び国内における先進的な取組事例等から木質バイオマスの熱エネルギー利用に関する知識を習得させ、地域に適応した熱エネルギーの利用を指導できる技術者を育成する。	最新の木質バイオマスの熱エネルギー利用の現状と課題 海外で普及定着している熱利用システム国内での先進的な取組事例(供給体制含む) 熱エネルギーによる木材の地産地消に向けた取組方策の検討	地方公共団体及び森林管理局職員、森林総合監理士等	30	23	7	4	9/16~9/19	○	経営研修課	
6	1	1	公共建築物等木材利用促進Ⅰ(構造設計)	公共建築物等の木材利用促進を図るため、中大規模木造建築物の設計に当たっての制度、木材や木質建材の特性等についての知識及び技術を習得させ、中大規模木造建築物の構造設計ができる技術者を育成する。	建築基準法の解説・木造技術の最近の動き 中大規模木造のための木質系材料の知識 木造建築物の構造計算	地方公共団体職員等	40	40	0	5	8/25~8/29		技術研修課	
7	1	1	公共建築物等木材利用促進Ⅱ(意匠設計)	公共建築物等の木材利用促進を図るため、中大規模木造建築物の設計に当たっての制度、木材や木質建材の特性等についての知識及び技術を習得させ、中大規模木造建築物の意匠設計ができる技術者を育成する。	建築基準法の解説・木造技術の最近の動き 中大規模木造のための木質系材料の知識 木造建築物の意匠設計	地方公共団体職員等	40	40	0	4	9/16~9/19		技術研修課	
8	1	1	木材輸出戦略	伸び悩んでいる国産材の需要を輸出により拡大するため、先進地の事例や輸出先の状況等を踏まえた木材輸出プランを戦略的に描ける知識及びノウハウを習得させ、付加価値の高い国産材の輸出を指導できる技術者を育成する。	木材輸出を巡る最近の情勢 輸出先別の規格・規制、商慣行 森林認証 木材輸出事例の分析 製品等の付加価値を高める輸出促進の戦略の検討	地方公共団体及び森林管理局職員等	27	20	7	4	11/4~11/7		技術研修課	
9	1	1	森林総合監理士フォローアップⅠ(目標林型と森林施策)	森林総合監理士(フォレスター)の資質向上を図るため、目標林型と施策に関する最新の知識及び技術の補強と森林施策プランナーとの連携方策について習得させる。	森づくりの基本的な考え方 目標林型と施策集約化 森林施策の省力化に向けた最新の知識・技術(コンテナ苗の活用を含む) 生物多様性に配慮した森林管理(鳥獣害対策を含む) 施策集約化に向けたプランナーとの連携	森林総合監理士等	20	13	7	5	10/20~10/24	○	技術研修課	
10	1	1	森林総合監理士フォローアップⅡ(木材安定供給)	森林総合監理士(フォレスター)の資質向上を図るため、木材の安定供給の必要性と需要者ニーズに応じた木材生産現場での支援方策について習得させる。	最近の木材価格、需要者ニーズの動向 木材生産現場での取組事例(採材・選別・工程等) 製材・全加工場等に入荷する素材の取引、加工・販売の現状把握	森林総合監理士等	20	13	7	3	10/15~10/17	○	技術研修課	
11	1	1	森林総合監理士フォローアップⅢ(木材利用拡大)	森林総合監理士(フォレスター)の資質向上を図るため、現在の木材利用拡大の現状、今後に向けた推進方向から、川下のニーズに即応した林業経営を指導できる知識及び技術を習得させる。	木材利用の現状と課題 新規用途の開発・利用状況 A材・大径材等のカスケード利用 バイオマス利用 川下のニーズに即応した供給体制	森林総合監理士等	20	13	7	5	12/8~12/12	○	技術研修課	
12	1	2	森林総合監理士フォローアップⅣ(作業システム)	森林総合監理士(フォレスター)の資質向上を図るため、効率的な作業システム及びコスト構造を理解し生産性向上を図るための改善手法を習得させる。	地域の実情に応じた車両系及び架線系作業システム 林業機械の能力とコスト計算(間伐、小面積皆伐、再造林) 事例検討(現地実習を含む)	森林総合監理士等	20	13	7	5	10/27~10/31	○	経営研修課	
13	1	1	森林総合監理士フォローアップⅤ(課題解決)	森林総合監理士(フォレスター)の実践力を向上させるため、活動を実践していく上での問題点と課題について共有し、解決策の討議を通じて課題解決能力を向上させる。	問題解決のプロセスとポイント(講義) 活動事例に基づく課題解決の実践(演習)	森林総合監理士等	20	13	7	3	2/25~2/27	○	技術研修課	
14	1	2	森林総合監理士育成技術	各地域において森林総合監理士を育成する研修の質を確保するため、森林総合監理士育成に必要な知識及び伝える技術を習得させ、国有林野事業職員における講師の能力を向上させる。	森林総合監理士制度 森林総合監理士育成における局職員講師の役割 民有林政策 伝える技術	森林管理局フォレスター研修担当職員等	40	0	40	5	5/26~5/30		経営研修課	
15	2	2	生物多様性保全Ⅰ(理論編)	地域の自然的・社会的状況に応じた実効性のある生物多様性保全を図るため、生物多様性保全の基本的な知識及び森林施策を施行する際の留意点等を習得させ、公益的機能と木材生産機能の調和のとれた森林整備事業等を指導できる技術者を育成する。	生物多様性保全とは 生物多様性における森林、いきもの 生物多様性保全方策と森林施策 生物多様性保全の評価	地方公共団体職員(実務経験を有する者)、森林管理局職員(生態系管理指導官、森林施策調整官等)及び森林総合監理士等	20	6	14	5	6/23~6/27	○	経営研修課	
16	2	2	生物多様性保全Ⅱ(実習編)	地域の自然的・社会的状況に応じた実効性のある生物多様性保全を図るため、現地実習を通じて、生物多様性保全の事例検討及び森林施策を施行する際の留意点等を習得させ、生物多様性保全に精通した技術者を育成する。	猛禽類、野生動物(シカ、クマ、イノシシ等)等の多様性保全と森林管理 生物多様性保全のためのフィールド調査	地方公共団体職員(基礎的知識を有する者)、森林管理局職員(生態系管理指導官、森林施策調整官等)及び森林総合監理士等	20	6	14	5	11/17~11/21	○	経営研修課	
17	2	1	森林調査	空中写真解析を含む森林調査や最新の技術を習得させ、最新技術を適切に選択し森林調査を実施できる技術者を育成する。	森林調査をめぐる最新技術の現状と課題 森林資源調査 空中写真解析	地方公共団体及び森林管理局職員等(採用後おおむね3年以下レベルの者)	25	18	7	4	11/25~11/28		技術研修課	
18	2	1	レーザー航測活用	森林調査、治山、林道、測量等応用範囲の広い最新技術であるレーザー航測技術等の基礎知識を習得させる。	森林調査における最新技術の動向 レーザー航測を中心とした活用事例 レーザー航測等の活用実習	地方公共団体及び森林管理局職員等	20	13	7	4	7/22~7/25		技術研修課	

記 番	区 分	担 当 課	研修の名称	研修の必要性	主な内容	対象者	計画人員(人)			計画 日数	実施時期 (月・日)	森林総合 監理士フ ローアッ プ研修	研修所実施課 等	備 考
							計	民	国					
19	2	1	森林施業技術	森林の多面的機能の発揮を重視し、流域の立地に応じた森林の管理経営を行うため、多様で低コストな森林施業に関する最新の知識及び技術を習得させる。	森林の多面的機能発揮のための森林施業の選択 低コストな森林施業の最新の知識及び技術 森林認証と森林施業 最新技術の定着に向けた課題と取組方策	地方公共団体及び森林管理局職員等	25	11	14	5	8/4~8/8		技術研修課	
20	2	1	森林保護管理Ⅰ(病虫害)	松くい虫被害やナラ枯れ被害等に対する森林保護施策推進のため、被害のメカニズムや被害対策等の知識及び技術を習得させ、技術理論に基づいた的確で効果的な防除政策を実施できる技術者を育成する。	森林保護行政の現状と課題 森林病虫害の現状と防除対策	地方公共団体及び森林管理局職員等	32	25	7	4	7/22~7/25		技術研修課	
21	2	1	森林保護管理Ⅱ(獣害)	シカやクマ等による森林被害を軽減させ、森林・林業の再生に向けた森林整備を着実に実行しているため、被害状況、加害動物の生態、被害対策、保護管理等について習得させ、戦略的な被害対策を企画できる技術者を育成する。	森林保護行政の現状と課題 鳥獣管理に関する情勢 野生鳥獣の保護管理と森林施業	地方公共団体及び森林管理局職員、森林総合監理士等	24	10	14	5	10/27~10/31	○	技術研修課	
22	2	1	森林総合利用	森林環境教育をはじめとする森林と人との共生に係る多様な活動に関するコーディネート能力の向上に必要な知識及び技術を習得させ、森林総合利用の企画立案ができる技術者を育成する。	森林総合利用の現状と課題 森林環境教育等の課題と企画・運営 森林環境教育等の実施に必要な知識	地方公共団体及び森林管理局職員等(実際に森林環境教育等の業務に携わっている者)	30	23	7	5	7/14~7/18		技術研修課	
23	2	1	特用林産	山村地域の重要な収入源、就業機会の確保等に資する特用林産の振興を図るため、生産技術や特用林産物を活用した地域振興など特用林産物の生産・流通・食の安全確保に関する知識及び技術を習得させ、地域における普及指導、振興策の企画・立案、安心安全に関する指導ができる技術者を育成する。	特用林産物に関する知識、生産技術 安全な特用林産物の供給 特用林産物を活用した地域振興の取組(現地実習を含む)	地方公共団体職員等	20	20	0	4	8/26~8/29		技術研修課	
24	2	1	山村・都市交流	都市住民や企業と共同での森林整備・保全、森林の公益的機能維持・向上に向けた活動促進策等に関する知識を習得させ、地域活性化の施策を企画・立案できる技術者を育成する。	山村と都市の連携 地域資源を活用した地域づくり 企画立案実習	地方公共団体及び森林管理局職員等	20	13	7	4	1/27~1/30		技術研修課	
25	2	2	森林整備事業	森林整備事業の執行方法や集約化、搬出間伐、継続的に利用できる路網整備等についての知識及び技術を習得させ、森林整備事業等の適切な運用や林業事業者等に適切に指導できる技術者を育成する。	事業の執行方法や集約化 間伐実習 継続的に利用できる路網整備 最新の技術についての現状と課題	地方公共団体及び森林管理局職員等	30	23	7	5	6/2~6/6		経営研修課	
26	2	1	保安林及び林地開発許可ⅰ	保安林の管理や解除、林地開発許可業務に関する知識及び技術を習得させ、保安林内の伐採許可や監督処分、森林内の開発行為に係る審査等を適切に実施できる技術者を育成する。	保安林制度について 保安林管理の実務 保安林解除の実務 林地開発許可について	地方公共団体及び森林管理局職員等(初任者レベルの者)	50	38	12	5	7/28~8/1		技術研修課	
27	2	1	保安林及び林地開発許可ⅱ	保安林の管理や解除、林地開発許可業務に関する知識及び技術を習得させ、保安林内の伐採許可や監督処分、森林内の開発行為に係る審査等を適切に実施できる技術者を育成する。	保安林制度について 保安林管理の実務 保安林解除の実務 林地開発許可について	地方公共団体及び森林管理局職員等(初任者レベルの者)	50	38	12	5	12/1~12/5		技術研修課	
28	2	1	持続可能な森林経営のための推進手法の向上	持続可能な森林経営を実践するためのプログラム策定とその実施強化を図るため、基準・指標に基づいた森林資源等のモニタリングの実施及び参加型手法に基づいた国家的森林プログラムの策定及び提案書作成に係る知識及び技術を習得させる。	持続可能な森林経営の概論 持続可能な森林経営の基準指標 参加型森林経営手法 森林資源モニタリング手法 国家森林計画の立案手法 行動計画書に基づいた提案書の作成 取りまとめと評価	海外からの研修員	12	12	0	73	8/27~11/7		技術研修課	
29	2	1	森林立地	土壌と指標植物等に関する基礎的知識及び把握方法を習得させ、立地環境を踏まえた森づくりができる技術者を育成する。	土壌の生成、分類 土壌、地質、地形等の環境要因と成立森林の関係 指標植物 土壌と指標植物等の調査手法	地方公共団体及び森林管理局の造林担当職員(指導者レベルの者)、森林総合監理士等	20	13	7	4	9/9~9/12	○	技術研修課	
30	3	1	治山(基礎知識・施設計画)ⅰ	治山事業の基本となる地形・地質・植生等山の見方、基礎的な調査、計画、設計、施工等の知識及び技術を習得させ、治山業務の実務ができる技術者を育成する。	治山事業の概要 治山事業の実務 ○工法、監督及び検査、調査、計画・設計、コンクリート、地すべり対策、自然現象の基本的見方と調査方法(総合演習)	・地方公共団体職員等(業務経験総年数おおむね3年以下の者) ・森林管理局職員(業務経験総年数おおむね3年以下の者、又は治山・林道(通信研修)を修了した森林官等及び初任の森林管理署等治山・林道担当者)	30	20	10	11	6/3~6/13		技術研修課	
31	3	2	治山(基礎知識・施設計画)ⅱ	治山事業の基本となる地形・地質・植生等山の見方、基礎的な調査、計画、設計、施工等の知識及び技術を習得させ、治山業務の実務ができる技術者を育成する。	治山事業の概要 治山事業の実務 ○工法、監督及び検査、調査、計画・設計、コンクリート、地すべり対策、自然現象の基本的見方と調査方法(総合演習)	・地方公共団体職員等(業務経験総年数おおむね3年以下の者) ・森林管理局職員(業務経験総年数おおむね3年以下の者、又は治山・林道(通信研修)を修了した森林官等及び初任の森林管理署等治山・林道担当者)	30	20	10	11	7/8~7/18		経営研修課	
32	3	2	治山(調査・測量・設計)ⅰ	治山事業における調査・測量・設計の技術力の向上を図るため、現地実習を通じ、自ら設計もできる技術者を育成する。	治山事業の概要 治山調査・測量・設計に係る測量の実践 災害復旧	地方公共団体及び森林管理局職員等(業務経験総年数おおむね3年以下の者又は治山(基礎知識・施設計画)研修を修了した者又は治山(基礎知識・施設計画)研修修了者と同等の知識を有する者)	27	20	7	12	9/1~9/12		経営研修課	
33	3	1	治山(調査・測量・設計)ⅱ	治山事業における調査・測量・設計の技術力の向上を図るため、現地実習を通じ、自ら設計もできる技術者を育成する。	治山事業の概要 治山調査・測量・設計に係る測量の実践 災害復旧	地方公共団体及び森林管理局職員等(業務経験総年数おおむね3年以下の者又は治山(基礎知識・施設計画)研修を修了した者又は治山(基礎知識・施設計画)研修修了者と同等の知識を有する者)	27	20	7	12	9/29~10/10		技術研修課	
34	3	1	治山(中堅)[地すべり]	地すべり防止事業の調査、計画、設計、施工等に関する知識及び技術を習得させ、地すべり防止業務の実務ができる技術者を育成する。	地すべり防止事業を取り巻く新たな動き 地すべり防止技術向上のための専門的個別技術 調査、計画、設計等の実務の習得 治山の先進的知識、技術	地方公共団体及び森林管理局職員等(業務担当経験総年数おおむね5年以上の者)	30	20	10	5	11/17~11/21		技術研修課	

記番	区分	担当課	研修の名称	研修の必要性	主な内容	対象者	計画人員(人)			計画日数	実施時期(月・日)	森林総合監理士フォローアップ研修	研修所実施課等	備考
							計	民	国					
35	3	1	林道技術者育成ⅰ	林道事業における調査・測量・設計の技術力の向上を図るため、現地実習を通じ、設計監理、施工管理及び災害復旧対応ができる技術者を育成する。	林道(林業専用道を含む)概要 林道調査・測量・設計に係る測量の実践 施設災害復旧	・地方公共団体職員等(業務担当経験年数おおむね3年以下の者) ・森林管理局職員(治山・林道(通信研修)を修了した者及び初任の森林管理署治山・土木担当者等)	20	13	7	11	5/20～5/30		技術研修課	
36	3	2	林道技術者育成ⅱ	林道事業における調査・測量・設計の技術力の向上を図るため、現地実習を通じ、設計監理、施工管理及び災害復旧対応ができる技術者を育成する。	林道(林業専用道を含む)概要 林道調査・測量・設計に係る測量の実践 施設災害復旧	・地方公共団体職員等(業務担当経験年数おおむね3年以下の者) ・森林管理局職員(治山・林道(通信研修)を修了した者及び初任の森林管理署治山・土木担当者等)	20	13	7	11	7/29～8/8		経営研修課	
37	3	2	林道技術者育成ⅲ	林道事業における調査・測量・設計の技術力の向上を図るため、現地実習を通じ、設計監理、施工管理及び災害復旧対応ができる技術者を育成する。	林道(林業専用道を含む)概要 林道調査・測量・設計に係る測量の実践 施設災害復旧	・地方公共団体職員等(業務担当経験年数おおむね3年以下の者) ・森林管理局職員(治山・林道(通信研修)を修了した者及び初任の森林管理署治山・土木担当者等)	20	15	5	11	10/14～10/24		経営研修課	
38	3	2	林業専用道技術者ⅰ	林業専用道の普及・定着を図るため、林業専用道の路網計画や作設後の維持管理、利活用ができる技術者を育成する。	林業専用道の路網計画、作設事例 林業専用道作設後の技術的課題 路網計画に関する現地検討	林業専用道技術者研修(平成23～25年度)修了者等、林業専用道の設計業務の発注、工事監督業務を担当している地方公共団体及び森林管理局職員等(初級レベルの者を除く。)	25	18	7	4	7/22～7/25		経営研修課	
39	3	1	林業専用道技術者ⅱ	林業専用道の普及・定着を図るため、林業専用道の路網計画や作設後の維持管理、利活用ができる技術者を育成する。	林業専用道の路網計画、作設事例 林業専用道作設後の技術的課題 路網計画に関する現地検討	林業専用道技術者研修(平成23～25年度)修了者等、林業専用道の設計業務の発注、工事監督業務を担当している地方公共団体及び森林管理局職員等(初級レベルの者を除く。)	25	18	7	4	11/25～11/28		技術研修課	
40	3	1	森林作業道作設指導者・監督者	森林作業道の適切な作設に資するため、路体・路面の盛土の施工・締固め方法、排水方法など基礎的な技術を習得させ、森林作業道作設工事において的確な技術指導・管理監督ができる技術者を育成する。	路体強度調査方法 地質や土質を踏まえた路体強度評価方法 各地の損壊事例 作設路線の評価	地方公共団体及び森林管理局職員、森林総合監理士等	40	30	10	5	9/1～9/5	○	技術研修課	
41	4	3	チェーンソー伐木造材技術ⅰ	林業における労働災害及び健康障害を減少し、安全な撤出間伐等を推進するため、伐木造材に関する基本的な知識及び技術、健康障害防止や危険作業の回避に必要な技術を習得させ、地域において安全な伐木造材等を指導することができる技術者を育成する。	伐木等(大径木等)労働安全衛生特別教育 チェーンソー等機械器具の取扱い方法 伐木造材作業及びかかり木処理の実践 防護用品の必要性	地方公共団体及び森林管理局職員	20	10	10	5	6/23～6/27		林業機械化センター	
42	4	3	チェーンソー伐木造材技術ⅱ	林業における労働災害及び健康障害を減少し、安全な撤出間伐等を推進するため、伐木造材に関する基本的な知識及び技術、健康障害防止や危険作業の回避に必要な技術を習得させ、地域において安全な伐木造材等を指導することができる技術者を育成する。	伐木等(大径木等)労働安全衛生特別教育 チェーンソー等機械器具の取扱い方法 伐木造材作業及びかかり木処理の実践 防護用品の必要性	地方公共団体及び森林管理局職員	20	10	10	5	9/8～9/12		林業機械化センター	
43	4	3	高性能林業機械Ⅰ(基礎ⅰ)	安全かつ効率的な高性能林業機械作業を推進するため、高性能林業機械の実践等を通して、高性能林業機械の特性や安全な操作方法、作業システムに関する基礎的知識及び技術を習得させ、安全で効率的な作業システム等に関する普及指導のできる技術者を育成する。	高性能林業機械の操作等 森林作業道と作業システムの関連性	地方公共団体職員(原則、初任担当職員及び林道事業担当者を含む)、森林管理局職員及び森林総合監理士等	15	10	5	5	6/30～7/4	○	林業機械化センター	
44	4	3	高性能林業機械Ⅰ(基礎ⅱ)	安全かつ効率的な高性能林業機械作業を推進するため、高性能林業機械の実践等を通して、高性能林業機械の特性や安全な操作方法、作業システムに関する基礎的知識及び技術を習得させ、安全で効率的な作業システム等に関する普及指導のできる技術者を育成する。	高性能林業機械の操作等 森林作業道と作業システムの関連性	地方公共団体職員(原則、初任担当職員及び林道事業担当者を含む)、森林管理局職員及び森林総合監理士等	15	10	5	5	10/20～10/24	○	林業機械化センター	
45	4	3	高性能林業機械Ⅱ(安全指導・前期ⅰ)	地域における安全な高性能林業機械作業を推進するため、労働安全衛生規則(平成25年厚生労働省令第125号)に基づき特別教育を必要とする業務に追加された車両系木材伐出機械等に関する知識及び操作技術を習得させ、現場技能者に対し、的確な安全指導ができる技術者を育成する。	車両系木材伐出機械、簡易架線集材装置の安全衛生特別教育(実技) 車両系木材伐出機械等による間伐作業システム実践 高性能林業機械の今後の展望	地方公共団体及び森林管理局職員(「高性能林業機械Ⅱ(安全指導・後期)」の受講予定者に限る)	10	7	3	5	7/28～8/1		林業機械化センター	安全指導・後期(記番:48)とあわせて受講することが必須。
46	4	3	高性能林業機械Ⅱ(安全指導・前期ⅱ)	地域における安全な高性能林業機械作業を推進するため、労働安全衛生規則(平成25年厚生労働省令第125号)に基づき特別教育を必要とする業務に追加された車両系木材伐出機械等に関する知識及び操作技術を習得させ、現場技能者に対し、的確な安全指導ができる技術者を育成する。	車両系木材伐出機械、簡易架線集材装置の安全衛生特別教育(実技) 車両系木材伐出機械等による間伐作業システム実践 高性能林業機械の今後の展望	地方公共団体及び森林管理局職員(「高性能林業機械Ⅱ(安全指導・後期)」の受講予定者に限る)	10	7	3	5	10/27～10/31		林業機械化センター	安全指導・後期(記番:48)とあわせて受講することが必須。
47	4	3	高性能林業機械Ⅱ(安全指導・前期ⅲ)	地域における安全な高性能林業機械作業を推進するため、労働安全衛生規則(平成25年厚生労働省令第125号)に基づき特別教育を必要とする業務に追加された車両系木材伐出機械等に関する知識及び操作技術を習得させ、現場技能者に対し、的確な安全指導ができる技術者を育成する。	車両系木材伐出機械、簡易架線集材装置の安全衛生特別教育(実技) 車両系木材伐出機械等による間伐作業システム実践 高性能林業機械の今後の展望	地方公共団体及び森林管理局職員(「高性能林業機械Ⅱ(安全指導・後期)」の受講予定者に限る)	10	7	3	5	11/17～11/21		林業機械化センター	安全指導・後期(記番:48)とあわせて受講することが必須。
48	4	3	高性能林業機械Ⅱ(安全指導・後期)	地域における安全な高性能林業機械作業を推進するため、労働安全衛生規則(平成25年厚生労働省令第125号)に基づき特別教育を必要とする業務に追加された車両系木材伐出機械等に関する知識及び操作技術を習得させ、現場技能者に対し、的確な安全指導ができる技術者を育成する。	車両系木材伐出機械、簡易架線集材装置の安全衛生特別教育(学科) 車両系木材伐出機械等の安全衛生特別教育の必要性	地方公共団体及び森林管理局職員(「高性能林業機械Ⅱ(安全指導・前期)」の修了者に限る)	30	21	9	4	2/3～2/6		林業機械化センター	本所で実施。安全指導・前期とあわせて受講することが必須。
49	4	3	集材架線	安全かつ効率的な林業架線作業を推進するため、素張りの実践を通じた安全な架設、撤去の作業手順、集材機の運転操作及び架線設計に関する知識及び技術を習得させ、架線技術の普及指導・監督ができる技術者を育成する。	エンドレスタイラー方式の架設・撤去作業の実践 集材機作業に必要な法令及び作業規程 集材機運転業務安全衛生特別教育 集材架線の設計	地方公共団体及び森林管理局職員、森林総合監理士等(免許取得者及び機械集材装置運転業務安全衛生特別教育修了者を除く)	15	10	5	10	5/28～6/6	○	林業機械化センター	
50	4	3	森林作業道Ⅰ(基礎技術)	丈夫で簡易な、壊れにくい森林作業道の整備を促進するため、森林作業道作設機(ドラゴンペル)の技能講習を実施した上で、作設手法等の技術を習得させ、現場作設者への的確な普及指導ができる技術者を育成する。	車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)技能講習 森林作業道作設事例 簡易で耐久性のある土構造による作設技術の実践	地方公共団体職員(初任者レベルの者)	10	10	0	12	7/7～7/18		林業機械化センター	
51	4	3	森林作業道Ⅱ(路網連携)	高効率かつ低コストな森林整備を促進するため、林業専用道等と森林作業道との連携や作業システム構築に必要な基礎的知識及び技術を習得させ、効果的な森林整備事業の推進ができる技術者を育成する。	森林作業道の作設事例 簡易で耐久性のある土構造による作設技術の実践 森林作業道における高性能林業機械の操作	地方公共団体及び森林管理局職員(林道事業及び森林計画担当者)	15	10	5	5	9/29～10/3		林業機械化センター	
52	4	3	森林作業道Ⅲ(作設指導)	丈夫で簡易な、壊れにくい森林作業道の整備を促進するため、地形・地質等に合わせた森林作業道作設に必要な実践的技術を習得させ、現場作設者への的確な技術指導ができる技術者を育成する。	既設森林作業道の比較・検討 地形・地質等に合わせた森林作業道の作設と実践 森林作業道等での施業事例	地方公共団体及び森林管理局職員(車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)技能講習修了者相当レベル)	15	10	5	5	11/10～11/14		林業機械化センター	

記 番	区 分	担 当 課	研修の名称	研修の必要性	主な内容	対象者	計画人員(人)			計画 日数	実施時期 (月・日)	森林総合 監理士フ ローアッ プ研修	研修所実施課 等	備 考
							計	民	国					
53	4	3	森林作業道Ⅳ(改築技術)	森林作業道の継続的な利用を推進するため、降雨に伴う根腐菌の増殖、林分生長に伴う作業システムの変更が必要となる既設路の線型変更に対応できるよう、森林作業道改築のための技術を習得させ、現場作業者への的確な普及指導ができる技術者を育成する。	森林作業道の改築事例と改善策の検討 地形・地質等に応じた森林作業道の作設実践 改築に必要な知識及び技術	地方公共団体及び森林管理 局職員(車両系建設機械(整 地・運搬・積込み用及び掘削 用)技能講習修了者相当レベ ル)	10	5	5	5	10/6~10/10	林業機械化セ ンター		
54	4	3	森林作業道Ⅴ(線形調査)	森林作業道の地形・地質に応じた路線選定を決定するため、作設に必要な実践的な技術を向上させた上で線形調査のポイントを習得させ、高効率かつ低コストな森林整備を促進する路線選定について普及指導ができる技術者を育成する。	既設森林作業道の比較・検討 地形・地質等に応じた作設技術の実践 森林作業道線形調査	地方公共団体及び森林管理 局職員	15	10	5	5	12/1~12/5	林業機械化セ ンター		
55	4	3	林業機械体験	チェーンソーによる伐倒や高性能林業機械による作業システムの体験を通して、森林施業と林業機械に対する理解を醸成する。	チェーンソーの知識と伐倒実技 高性能林業機械操作及び作業システムの 作業体験	関係団体の構成員(学生)	20	20	0	4	8/4~8/7	林業機械化セ ンター		
56	4	3	高性能林業機械指導者	安全かつ効率的な高性能林業機械作業システム及び架線集材システムを定着させるため、各システムにおける作業の実践を通じて、特性と安全性、効率的・効果的な機械・人員の配置等に関する知識や技術を習得し、研修生に対し作業システムの選択等について助言・指導ができる技術者を育成する。	高性能林業機械作業の実践 作業システムの構築 森林作業道と作業システムの構造	林業機械化センター及び森林 管理局職員(初級レベルの者 を除く。)	7	0	7	5	5/12~5/16	林業機械化セ ンター	計画人員7名の うち5名は林業機 械化センター職員	
57	4	3	森林作業道作設指導者ⅰ	丈夫で簡易な、壊れにくい森林作業道の整備を促進するため、地形・地質等に応じた森林作業道作設に必要な実践的な技術を習得し、研修生に對し的確な技術指導ができる技術者を育成する。	地形・地質等に応じた森林作業道の作設 実践 改築に必要な知識及び技術 既設森林作業道の比較・検討 森林作業道線形調査	林業機械化センター及び森林 管理局職員(初級レベルの者 を除く。)	7	0	7	5	8/18~8/22	林業機械化セ ンター	計画人員7名の うち5名は林業機 械化センター職員	
58	4	3	森林作業道作設指導者ⅱ	丈夫で簡易な、壊れにくい森林作業道の整備を促進するため、地形・地質等に応じた森林作業道作設に必要な実践的な技術を習得し、研修生に對し的確な技術指導ができる技術者を育成する。	地形・地質等に応じた森林作業道の作設 実践 改築に必要な知識及び技術 既設森林作業道の比較・検討 森林作業道線形調査	林業機械化センター及び森林 管理局職員(初級レベルの者 を除く。)	7	0	7	3	9/24~9/26	林業機械化セ ンター	計画人員7名の うち5名は林業機 械化センター職員	
59	4	3	森林作業道作設指導者ⅲ	丈夫で簡易な、壊れにくい森林作業道の整備を促進するため、地形・地質等に応じた森林作業道作設に必要な実践的な技術を習得し、研修生に對し的確な技術指導ができる技術者を育成する。	地形・地質等に応じた森林作業道の作設 実践 改築に必要な知識及び技術 既設森林作業道の比較・検討 森林作業道線形調査	林業機械化センター及び森林 管理局職員(初級レベルの者 を除く。)	7	0	7	4	10/14~10/17	林業機械化セ ンター	計画人員7名の うち5名は林業機 械化センター職員	
60	4	3	森林作業道作設指導者ⅳ	丈夫で簡易な、壊れにくい森林作業道の整備を促進するため、地形・地質等に応じた森林作業道作設に必要な実践的な技術を習得し、研修生に對し的確な技術指導ができる技術者を育成する。	地形・地質等に応じた森林作業道の作設 実践 改築に必要な知識及び技術 既設森林作業道の比較・検討 森林作業道線形調査	林業機械化センター及び森林 管理局職員(初級レベルの者 を除く。)	7	0	7	4	11/4~11/7	林業機械化セ ンター	計画人員7名の うち5名は林業機 械化センター職員	
61	4	3	出張研修(森林作業道ⅰ)	丈夫で簡易な、壊れにくい森林作業道の整備を促進するため、作設に必要な技術の普及と、地域に適した作設方法等の検討を現場において行い、現場作業者への的確な指導に必要な技術力を向上させる。	森林作業道線形の検討 地形・地質等に応じた作設技術の実践 地域に適した森林作業道の検討	森林管理局職員	15	0	15	3	9/16~9/18	林業機械化セ ンター		
62	4	3	出張研修(森林作業道ⅱ)	丈夫で簡易な、壊れにくい森林作業道の整備を促進するため、作設に必要な技術の普及と、地域に適した作設方法等の検討を現場において行い、現場作業者への的確な指導に必要な技術力を向上させる。	森林作業道線形の検討 地形・地質等に応じた作設技術の実践 地域に適した森林作業道の検討	森林管理局職員	15	0	15	3	1/20~1/22	林業機械化セ ンター		
63	4	3	出張研修(チェーンソーⅰ)	伐木資材に関する基礎的な知識及び技術、健康障害防止や危険作業の回避に必要な技術等を現場において習得させ、安全で効率的な伐木資材等の指導・監督、国有林の森林整備を支援するために必要な技術力を向上させる。	伐木等(大径木等)労働安全衛生特別教育 伐木資材作業及びびかり木処理の実践 防護用品の必要性	森林管理局職員	20	0	20	4	1/27~1/30	林業機械化セ ンター		
64	4	3	出張研修(チェーンソーⅱ)	伐木資材に関する基礎的な知識及び技術、健康障害防止や危険作業の回避に必要な技術等を現場において習得させ、安全で効率的な伐木資材等の指導・監督、国有林の森林整備を支援するために必要な技術力を向上させる。	伐木等(大径木等)労働安全衛生特別教育 伐木資材作業及びびかり木処理の実践 防護用品の必要性	森林管理局職員	20	0	20	4	2/17~2/20	林業機械化セ ンター		
65	4	3	出張研修(チェーンソーⅲ)	伐木資材に関する基礎的な知識及び技術、健康障害防止や危険作業の回避に必要な技術等を現場において習得させ、安全で効率的な伐木資材等の指導・監督、国有林の森林整備を支援するために必要な技術力を向上させる。	伐木等労働安全衛生特別教育 伐木資材作業及びびかり木処理の実践 防護用品の必要性	森林管理局職員	20	0	20	3	9/16~9/18	林業機械化セ ンター		
66	5	1	総合職新採用	職場適応能力を付与させるため、森林・林業の現状と課題、森林・林業政策に関する知識等を習得させ、また森林内における調査・機械操作等を体験し、現場適応能力を向上させる。	訓練及び講話 森林・林業の現状と将来 現場実務に必要な技術 等	平成26年度国家公務員総合 職採用職員	14	0	14	5	4/14~4/18	技術研修課		
67	5	2	森林・林業基礎	職場適応能力を付与させるため、森林・林業行政に関する基礎知識を習得させ、また森林内における調査・機械操作等を体験し、現場適応能力を向上させる。	森林・林業の基礎知識 林業用機器の使い方	平成26年度国家公務員一般 職(事務、行政、土木区分)採 用職員	30	0	30	5	4/21~4/25	経営研修課		
68	5	1	森林技術者ステップアップ	森林・林業に関する各分野の最新知識等を習得させ、最新の科学的知見とともに幅広い視野を持って施業の企画・立案等の業務を行える技術者を育成する。	森林・林業における各分野の動向 施業の企画・立案に向けた自己啓発能 力の向上	林野庁・森林管理局職員等 (4Gの職員)及び都道府県係 長級(国家公務員4G相当)の 職員	30	23	7	5	11/10~11/14	技術研修課		
69	5	1	林業金融実務・税制	林業経営の改善を図るため、林業の金融制度及び税制に係る専門的な知識を習得させる。	林業金融制度の意義と実際 林業税制の意義と実際 林業経営の現状と課題	地方公共団体職員等	47	47	0	3	7/9~7/11	技術研修課	隔年研修	
70	5	2	研修企画運営実務	人材育成の重要性が高まる中、各施策を現場のニーズに応じて実行し得る技術力を持った人材を各地域において育成していくため、的確な研修の目標設定及び企画・立案、効果的な研修運営等の実務ができる技術者を育成する。	現場ニーズを捉えた的確な研修目標の 設定、企画・立案の手法 効果的な講義・演習手法 効果的な研修の実施、評価・改善の手法	都道府県林務職、林野庁(森 林技術総合研修所を含む。) 及び森林管理局の研修実務 担当者	24	10	14	4	11/11~11/14	経営研修課		
71	5	1	女性林業技術者等の定着・能力発揮促進	新たな成長産業としての林業の再生に向けて、森林・林業分野で女性の力をより活かしていくため、女性林業技術者等の職場への定着及び能力発揮並びにこれらによる職場の活性化の必要性を理解し、積極的に推進していくことができる者を育成する。	森林・林業分野における女性の活躍の 可能性と期待 森林・林業分野における女性の活動事 例 女性の定着・能力発揮に向けた取組等	林業事業体又は林業団体の 管理者及び人材育成担当者 等	15	15	0	2	1/22~1/23	技術研修課		
72	6	2	署長	国有林野の管理経営の基本理念を習得させるとともに、対外的危機管理等に必要な実践的能力を習得させ、国有林野の管理経営の適切な遂行に必要な管理指導能力、判断力を持った者を育成する。	国有林野事業の経営環境 組織運営能力の向上	森林管理署長の職(これと同 等と認められる職を含む)に 初めて任用された職員	20	0	20	4	5/13~5/16	経営研修課		
73	6	2	総括官等技術	森林・林業に関する各分野の最新知識・技術を習得させ、幅広い視野を持って各分野の事業を効果的に企画・調整できる技術者を育成する。	森林・林業・木材産業の現状と課題 森林施業技術とシロアリの被害対策 業務の適切なかつ円滑な実施	総括森林整備官を中心に、森 林管理署等において技術指 導を行う者	25	0	25	4	5/20~5/23	経営研修課		

記番	区分	担当課	研修の名称	研修の必要性	主な内容	対象者	計画人員(人)			計画日数	実施時期(月・日)	森林総合監理士フォローアップ研修	研修所実施課等	備考
							計	民	国					
74	6	2	発注者網紀保持	発注者網紀保持の一層の定着を図るとともに、発注事務の公正・透明かつ適切な実施に関する理解を深めるため、網紀保持に関する基礎・応用知識、発注関係法令、入札制度等に関する知識を習得させ、発注事務を適切に指導できる者を育成する。	入札制度、談合、経済法等 他省庁や地方公共団体における先進的取組事例研究	森林管理局発注者網紀保持担当職員等	14	0	14	3	7/2~7/4		経営研修課	
75	6	2	健康安全管理	健康安全管理に関する指導能力の向上を図るため、健康安全管理体制の強化、職場における健康安全管理等の指導に必要な幅広い情報・知識及び指導手法等を習得させ、現場で健康安全指導ができる者を育成する。	健康安全管理体制の強化 健康管理指導能力の向上 安全管理指導能力の向上	森林管理局の安全衛生係長及び局・署の健康・安全管理担当等、健康及び安全管理に関する実務的指導の担当職員(業務担当経験総年数おおむね2年以下の者)	14	0	14	4	6/10~6/13		経営研修課	
76	6	2	森林ふれあい	森林教室その他地域と連携した普及啓発活動を推進するため、国有林における自然体験活動、森林環境教育等の実践に必要な知識及び技術を習得させ、森林ふれあい業務の実務ができる技術者を育成する。	森林ふれあいのあり方 自然体験活動のあり方 地域の関係者との連携 森林環境教育の実践	森林管理局職員等(局・署において実際にふれあい業務に携わっている者)	20	0	20	4	9/30~10/3		経営研修課	
77	6	2	木材安定供給(販売)	国有林材を川下へ安定的に供給するため、木材産業の現状や流通、木材の流通・加工に関する実務的な知識及び技術を習得させ、市場の需要動向に対応した販売を促進できる技術者を育成する。	政策としての販売・生産事業 木材産業の現状と課題 木材の流通と販売 国有林材における安定供給の取組	森林管理署等の収穫・生産・販売担当職員(業務担当経験総年数おおむね2年以下の者)	20	0	20	5	6/16~6/20		経営研修課	
78	6	3	木材安定供給(生産)	低コストかつ効率的な素材生産を推進するため、現地実習等を通じて、路網・作業システムと木材生産に関する実務的な知識及び技術を習得させ、森林作業道建設設計を踏まえた路網整備や、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率作業システムの普及ができる技術者を育成する。	森林作業道の線形計画・作設方法の実習 現地に応じた作業システムの選定及び実践 コスト計算	森林管理署等の収穫・生産・販売担当職員(業務担当経験総年数おおむね2年以下の者)	20	0	20	12	8/25~9/5		林業機械化センター	
79	6	2	木材安定供給(フォローアップ)	低コストかつ効率的な素材生産システムや林産物の有利販売を推進するため、専門的技術を活用して生産・販売業務を行える技術者を育成する。	「生産・販売研修」及び「木材安定供給研修」の修了後、それぞれの現場で実践を積み重ねる中で得られた成果や問題の共有と解決策の検討 生産事業計画書に係る作業日報分析結果の発表及びディスカッション	森林管理局職員(「生産・販売研修」修了者及び「木材安定供給研修」修了者)	30	0	30	3	11/5~11/7		経営研修課	隔年研修
80	6	2	情報処理Ⅰ(刷新システム等技術者養成)	事務・業務の効率的な実施を推進するため、情報システムの運用に必要な知識や効果的な活用方法を習得させ、国有林情報管理システム(刷新システム)及び国有林ネットワークシステムの円滑な運用を行える技術者を育成する。	OLAP機能による情報分析 情報セキュリティ 国有林野間システム 新規機能の活用	森林管理局の情報処理担当職員等(業務担当経験総年数おおむね2年以下の者)	14	0	14	4	5/13~5/16		経営研修課	
81	6	2	情報処理Ⅱ(森林GIS技術者養成)	森林GISに係る高度な活用・運用管理についての知識及び技術を習得させ、事務・業務の効率的な実施を推進するためにGISを効果的に活用できる技術者を育成する。	国有林GISの新規機能を含めた業務への活用 森林GISの活用に向けた取組み	森林管理局のGIS担当職員等(業務担当経験総年数おおむね2年以下の者)	14	0	14	3	1/28~1/30		経営研修課	
82	6	2	GNSS測量等技術者養成(人工衛星による測量)	国有林野における測量技術の向上を図るため、GNSS測量の観測方法、GNSS測量の解析等を行える技術者を育成する。	GNSS測量技術の現状と課題 GNSS測量の現地実習 GNSS測量における基礎解析と基礎知識	森林管理局測定業務担当者等(業務担当経験総年数おおむね2年以下の者)	20	0	20	3	12/10~12/12		経営研修課	
83	6	2	流域管理・国有林森林総合監理士フォローアップ	民・国連携して森林の流域管理を適切に推進するため、流域の特性を踏まえ、民・国が連携した森林整備の方策やその実施方法、木材供給の低コスト化や新たな需給拡大等、流域が一体となった具体的な活動や民有林行政の支援を実践するために必要な能力を向上させる。	森づくりや木材生産の低コスト化 民・国連携に向けた国有林森林総合監理士活動の課題と解決策	森林管理局職員(国有林森林総合監理士等)	14	0	14	5	12/1~12/5		経営研修課	
84	6	2	森林関係法制度	法令遵守の更なる徹底を図るため、森林関係法令に基づく規制措置や諸手続等の知識を習得させ、法令に則した適正な事業実行の指導・監督ができる技術者を育成する。	森林関係法令の規制措置や諸手続 森林法関係法令に則した事業実行能力、指導・監督のポイント	森林管理局職員(各種事業実行に際して、森林管理局・署において森林関係法制度の指導・監督業務を担う者)	14	0	14	3	1/21~1/23		経営研修課	隔年研修
85	6	2	技術開発・普及支援	林業技術の開発及び普及を研究機関や民有林と連携して推進するため、技術開発に関する最新の動向、研究機関と連携した事例検討等を通じて、効果的に成果を普及できる技術者を育成する。	技術開発の現状と課題 共同研究団体の取組事例について検証 特記仕様書の作成における検討事項	森林管理局職員(森林技術・支援センターの所長、森林技術普及専門官、局技術開発担当企画官、技術開発主任官等)	20	0	20	3	11/26~11/28		経営研修課	隔年研修
86	6	2	地域対応力向上	国有林の各種施策を地域において推進するため、国有林の取組を効果的に発信し、また、多様な地域の要請を的確に把握し、さらに、様々な利害関係者と合意形成を図る技術を習得させ、国有林の施策を現場で実現できる技術者を育成する。	効果的な情報の発信 地域の声を引き出し、把握する 地方行政の現状と課題(企画を担当している自治体職員から) 合意形成の技術 具体的な業務を想定した演習	森林管理局職員(地域関係者との窓口となる職員(地域林政調整官、森林技術指導官、地域統括森林官等))	20	0	20	5	2/16~2/20		経営研修課	
87	6	2	通信研修Ⅰ(森林活用)	森林活用に関する基礎的な知識等を習得させ、森林活用業務を適切に執行する技術者を育成する。	国有財産制度、国有林野管理に関する基礎知識 分収林制度に関する基礎知識 国有林野等貸付・使用等に関する基礎知識 森林空間総合利用に関する基礎知識 林野・土地の利活用に関する基礎知識	森林管理署職員等	40	0	40	10ヵ月	6/2~3/23		経営研修課	
88	6	2	通信研修Ⅱ(治山・林道)	治山・林道に関する基礎的な知識等を習得させ、治山・林道(林業専用道含む)関係業務を適切に執行する技術者を育成する。	治山に関する基礎知識 林道に関する基礎知識 土質に関する基礎知識 測量に関する基礎知識 水理に関する基礎知識	森林管理署職員等	50	0	50	10ヵ月	6/2~3/23		経営研修課	
森林技術総合研修所 合計							1,985	1031	954	509		14		計画日数は、通信研修を除く。
32	32	コース	技術研修課 小計				890	677	213	229				
30	30	コース	経営研修課 小計				720	197	523	145				計画日数は、通信研修を除く。
62	62	コース	本所計				1,610	874	736	374				
26	26	コース	機械化センター 小計				375	157	218	135				